

76 ナニワクチミゾガイ

(クチミゾガイ科)

兵庫県ランク:A

Eostrobilops nipponica reikoeae

環境省ランク:NT

種の概要

静岡県、愛知県、大阪府北西部、兵庫県(伊丹市1箇所)に分布する。基亜種であるマツシマクチミゾガイは長野県以東の100～1,000mの比較的高山地に生息しているが、本亜種は20～100mの丘陵地に生息している。殻長約2mm、殻径約3mm。低いドーム型で、殻口内唇から2つの板がラジカルに殻内へと発達している。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
				○	○	○	○

県内分布

伊丹市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。県内唯一の生息地である伊丹市が本亜種の分布西限域である。伊丹市の生息地は、南北に伸びる猪名川の河岸段丘の雑木林の林床下で、やや乾燥した落葉下に生息している。大阪府側の生息密度は高いが、分布域の端にあたるため密度は低い。

保護上の留意点

大阪府側の生息地の多くは社寺林であるため開発されにくいですが、県内の生息地は近くまで住宅地が迫っており、何らかの保護措置が必要である。



【執筆者】 大原健司